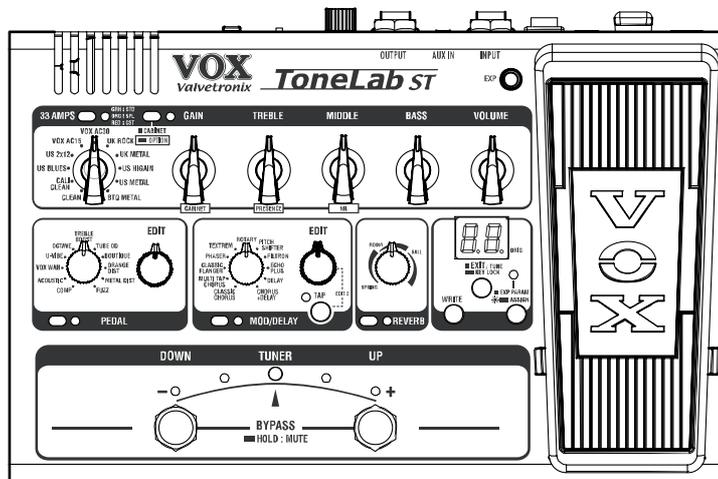


Modeling Effect Processor

ToneLab ST



取扱説明書



安全上のご注意

ご使用になる前に必ずお読みください

ここに記載した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

注意事項は誤った取り扱いで生じる危害や損害の大きさ、または切迫の程度によって、内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。これらは、あなたや他の方々の安全や機器の保全に関わる重要な内容ですので、よく理解した上で必ずお守りください。

火災・感電・人身障害の危険を防止するには

図記号の例

	△ 記号は、注意（危険、警告を含む）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれています。左の図は「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘ 記号は、禁止（してはいけないこと）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「分解禁止」を表しています。
	● 記号は、強制（必ず行うこと）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を守ってください

警告

この注意事項を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が予想されます

-  ACアダプターのプラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込む。
-  ACアダプターのプラグにほこりが付着している場合は、ほこりを拭き取る。
感電やショート恐れがあります。
-  本製品はコンセントの近くに設置し、ACアダプターのプラグへ容易に手が届くようにする。
-  次のような場合には、直ちに電源を切ってACアダプターのプラグをコンセントから抜く。
 - ACアダプターが破損したとき
 - 異物が内部に入ったとき
 - 製品に異常や故障が生じたとき修理が必要なときは、コルグ・サービス・センターへ依頼してください。
-  本製品を分解したり改造したりしない。
-  修理、部品の交換などで、取扱説明書に書かれてること以外は絶対にしない。
-  ACアダプターのコードを無理に曲げたり、発熱する機器に近づけない。また、ACアダプターのコードの上に重いものをのせない。
コードが破損し、感電や火災の原因になります。

- ・大音量や不快な程度の音量で長時間使用しない。
大音量で長時間使用すると、難聴になる可能性があります。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。
- ・本製品に異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）を入れない。
- ・温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）で使用や保管はしない。
- ・振動の多い場所で使用や保管はしない。
- ・ホコリの多い場所で使用や保管はしない。



- ・風呂場、シャワー室で使用や保管はしない。



- ・雨天時の野外のように、湿気の多い場所や水滴のかかる場所で、使用や保管はしない。
- ・本製品の上に、花瓶のような液体が入ったものを置かない。
- ・本製品に液体をこぼさない。



- ・濡れた手で本製品を使用しない。

注意

この注意事項を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性
または物理的損害が発生する可能性があります



- ・正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。
- ・外装のお手入れは、乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。
- ・ACアダプターをコンセントから抜き差しするときは、必ずプラグを持つ。



- ・長時間使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜く。



- ・付属のACアダプターは、他の電気機器で使用しない。
付属のACアダプターは本製品専用です。他の機器では使用できません。
- ・他の電気機器の電源コードと一緒にタコ足配線をしていない。
本製品の定格消費電力に合ったコンセントに接続してください。
- ・スイッチやツマミなどに必要以上の力を加えない。
故障の原因になります。
- ・外装のお手入れに、ベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド質、強燃性のポリッシャーは使用しない。
- ・不安定な場所に置かない。
本製品が落下してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。
- ・本製品の隙間に指などを入れない。
お客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。

*すべての製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

目次

はじめに	1	チューナー	23
おもな特長	1	チューニングの方法	23
ギタリストのためのパネル・ツアー(各部の名称と機能)	2	チューナーのキャリブレーション	23
トップ・パネル.....	2	エクスプレッション・ペダルによるコントロール	24
リア・パネル.....	7	エクスプレッション・ペダルの設定	24
接続しよう	8	エクスプレッション・ペダルの機能の割り当て(クイック・アサイン)	24
プログラムを聴いてみよう	9	エクスプレッション・ペダルの最小値、最大値....	25
好みの音を作ろう	10	エクスプレッション・ペダルの感度の調整	27
音作り	10	コンピューターとの接続(USB 接続)	28
ノイズ・リダクションの調整.....	11	ライブラリアン・ソフトを使用する	28
プログラムを保存しよう	12	オーディオ・データをやり取りする	28
アンプ・モデル、キャビネット・モデル、各種エフェクト・タイプについて	13	工場出荷時の状態に戻す	29
アンプ・モデル.....	13	故障とお思いになる前に	29
キャビネット・モデル.....	17	プリセット・プログラム・リスト	31
エフェクト・タイプ.....	18	仕様	33

はじめに

このたびは VOX モデリング・エフェクト・プロセッサー ToneLab ST をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本機を末永くご愛用いただくためにも、取扱説明書をよくお読みになって正しい方法でご使用ください。また、取扱説明書は大切に保存してください。

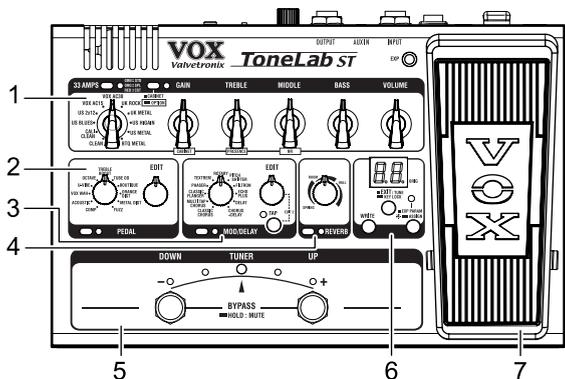
おもな特長

- 本機は、通常プリアンプで使われている小型3極真空管 12AX7 (ECC83) を使ったパワーアンプ回路を搭載することで、「本物のチューブアンプ・サウンド」を作り出し、オリジナル・アンプの感触やトーンを生み出します (Valvetronix 技術)。
- 高度なモデリング・テクノロジーによるアンプ・モデル 33 種を搭載しています。また、11 種類のスピーカー・キャビネットのモデリングを搭載し、往年のビンテージ・アンプや高価なハイエンド・チューブアンプなどのサウンドを手軽に呼び出すことができます。
- ハイクオリティなエフェクト 25 種を内蔵しており、ノイズ・リダクションを含め最大 8 種のエフェクト・タイプを同時に使用することができます。
- アンプやエフェクトを駆使した50のプリセット・サウンドと、ユーザーが自由に書き替えできる 50 のプログラムの計 100 プログラムを、演奏中にフット・スイッチで簡単に切り替えることができます。
- ワウやボリューム、他にもさまざまなエフェクトのパラメーターをコントロールできるエクスペッション・ペダルを装備し、ライブ・パフォーマンスなどに威力を発揮します。
- パラメーターをはじめとするいろいろな機能をエクスペッション・ペダルへ簡単に割り当てることができる、クイック・アサイン機能を搭載しました。
- ギター・アンプやライン入力機器などの出力先に応じて、最適な補正を行うことができる、アンプ/ライン・スイッチを搭載しています。
- オート・クロマチック・チューナーを内蔵し、チューニングが可能です。
- 市販の USB ケーブルで本機とコンピューターを接続すると、コンピューター上のライブラリアン・ソフトウェアでユーザー・プログラムを管理したり、本機を USB オーディオ・インターフェイスとして使用することができます。

ギタリストのためのパネル・ツアー（各部の名称と機能）

ここでは、本機のトップ・パネルとリア・パネル上のスイッチや、端子類について説明します。

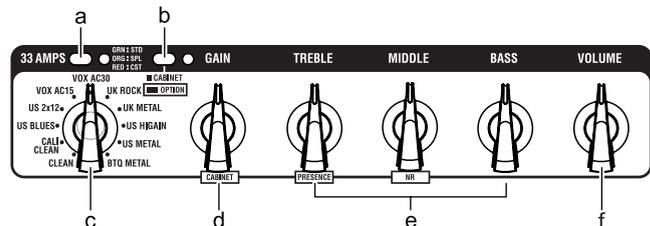
トップ・パネル



1. アンプ・セクション

アンプ・モデルの設定を行ないます。

各エフェクトの詳細は「アンプ・モデル」(p.13) を参照してください。



- a. AMP (アンプ) バンク選択・スイッチ、LED
バンクを切り替えたり、アンプ・モデルを ON または OFF にしたりします。

スイッチを押すたびに、バンクが STD (Standard)、SPL (Special)、CST (Custom)、STD... に切り替わります。

選択したバンクに合わせ、LED の色が変わります。

- STD (Standard) : グリーン
- SPL (Special) : オレンジ
- CST (Custom) : レッド

アンプ・モデルが ON のときには LED が点灯します。スイッチを 1 秒程度押しとアンプ・モデルの ON と OFF が切り替わります。

- b. CABINET ON/OFF (キャビネット・オン/オフ) スwitch、LED
キャビネット・モデルを ON または OFF にします。キャビネット・モデルが ON のときには LED が点灯します。
また、OPTION パラメーター設定モードに入ると、それぞれのパラメーターを設定することができます。

OPTION パラメーター設定モード

OPTION パラメーター設定モードに入るときは、CABINET ON/OFF スイッチを 1 秒程度押します。OPTION パラメーター設定モードに入り、LED が点滅します。

OPTION パラメーター設定モードでは、以下を設定することができます。

- GAIN コントロール：キャビネット・モデル (CABINET)
- TREBLE コントロール：プレゼンス (PRESENCE)
- MIDDLE コントロール：ノイズ・リダクション (NR)

元に戻るときは、CABINET ON/OFF スイッチまたは EXIT スイッチを押します。

NOTE: OPTION パラメーター設定モードでは、BASS、VOLUME コントロールが無効になります。

c. AMP (アンプ) セレクター

アンプ・モデルを選択します。

選んだアンプ・モデルによって、ゲイン回路、トーン・コントロールの特性や回路上の配置が変わります。

アンプ・モデルが OFF のときにセレクターを回すと、アンプ・モデルは ON になります。

d. GAIN (ゲイン) コントロール

選択したアンプ・モデルのゲインを調整します。また、OPTION パラメーター設定モードでキャビネット・モデルを選択します。

キャビネット・モデルが OFF のときに OPTION パラメーター設定モードでコントロールを回すと、キャビネット・モデルは ON になります。

e. TREBLE (トレブル)、MIDDLE (ミドル)、BASS (ベース) コントロール

高音、中音、低音の音色を調整します。また、OPTION パラメーター

設定モードでは、TREBLE コントロールでプレゼンスを調整し、MIDDLE コントロールでノイズ・リダクションを設定します。音色の変化は、選択したアンプ・モデルによって異なります。

NOTE: 選択したアンプ・モデルによっては、この 3 つのコントロールをすべて左に回しきると、ほとんど音が出なくなる場合があります。

f. VOLUME (ボリューム) コントロール

プログラムの音量を調整します。

HINT: アンプ・モデルが OFF のときにも、プログラムの音量を調整することができます。

2. ペダル・セクション

ペダル・エフェクトの設定を行いません。

各エフェクトの詳細は「ペダル・タイプ」(p.18) を参照してください。

a. PEDAL ON/OFF (ペダル・オン/オフ) スイッチ、LED

ペダル・エフェクトを ON または OFF にします。ペダル・エフェクトが ON のときは LED が点灯します。

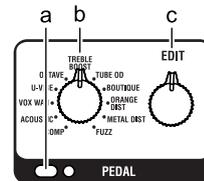
b. PEDAL (ペダル) セレクター

ペダル・タイプを選択します。

ペダル・エフェクトが OFF のときにセレクターを回すと、ペダル・エフェクトは ON になります。

c. EDIT (エディット) ツマミ

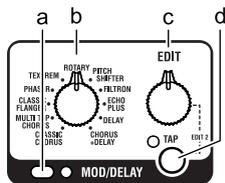
各エフェクトのパラメーターを調整します。



3. モッド/ディレイ・セクション

モジュレーション・エフェクト、ディレイ・エフェクト、その他ピッチシフトなどのエフェクトの設定を行います。

各エフェクトの詳細は「モッド/ディレイ・タイプ」(p.20)を参照してください。



- a. MOD/DELAY ON/OFF(モッド/ディレイ・オン/オフ) スイッチ、LED
モジュレーション・エフェクト、ディレイ・エフェクト、またはその他のエフェクトを ON または OFF にします。ON のときは LED が点灯します。
- b. MOD/DELAY (モッド/ディレイ) セレクター
モジュレーション・タイプ、ディレイ・タイプ、またはその他のエフェクト・タイプを選択します。
エフェクト・タイプが OFF のときにセレクターを回すと、エフェクト・タイプは ON になります。
- c. EDIT (エディット) ツマミ
各エフェクトのパラメーターを調整します。
このツマミは、EDIT 1、EDIT 2 でそれぞれのパラメーターを調整することができます。調整するパラメーターは、選択するエフェクトによって異なります。詳しくは、「モッド / ディレイ・タイプ」(p.20)を参照してください。
 - EDIT 1: EDIT ツマミを回す。
 - EDIT 2: TAP スイッチを押しながら EDIT ツマミを回す。
- d. TAP (タップ) スイッチ、LED
おもにモジュレーション・エフェクトのスピードと、ディレイ・エ

フェクトのディレイ・タイムを設定します。TAP スイッチを 2 回押した間隔がタイムとして設定されます。

スピードやタイムに合わせて LED が点滅します。

PITCH SHIFTER を選択した場合は、TAP スイッチを押すたびにピッチの設定が変わります。

FILTERON を選択した場合は、TAP スイッチを押すたびにエンベロープの UP と DOWN の設定が変わります。UP 時は LED が点灯します。

TAP スイッチを押しながら EDIT ツマミを回す (EDIT 2) と、SPEED や PITCH パラメーターなど調整することができます。

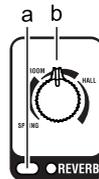
詳しくは、「モッド/ディレイ・タイプ」(p.20)を参照してください。

4. リバース・セクション

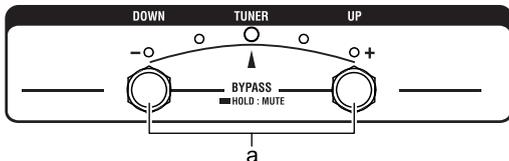
リバース・エフェクトの設定を行いません。

各リバース・エフェクトについては「リバース・タイプ」(p.22)を参照してください。

- a. REVERB ON/OFF(リバース・オン/オフ)スイッチ、LED
リバース・エフェクトの ON と OFF を切り替えます。
リバース・エフェクトが ON のときは LED が点灯します。
- b. REVERB (リバース) ツマミ
ツマミの位置によって、SPRING、ROOM、HALL のリバース・タイプの切り替えと、リバース音のミックス量を設定します。
リバース・エフェクトが OFF のときにツマミを回すと、リバース・エフェクトは ON になります。



5. プログラム・セレクト/チューナー・セクション



a. UP/DOWN (アップ/ダウン) ペダル、LED

プログラムを選択する (p.9、「プログラムを聴いてみよう」)

UP ペダルを押すと、プログラムが 1 進み、DOWN ペダルを押すと、プログラムが 1 戻ります。

UP ペダルを押しながら EXIT/TUNE キーを押すと、プログラムが 10 進みます。

DOWN ペダルを押しながら EXIT/TUNE キーを押すと、プログラムが 10 戻ります。

チューナーを使用する (p.23、「チューナー」)

UP と DOWN ペダルを同時に押すと、すべてのエフェクトがバイパスになり、チューナーを使用することができます。

UP と DOWN ペダルを同時に 2 秒程度押すと、音をミュートしながらチューナーを使用することができます。

チューナーの使用時は、LED にチューニングの状態を表示します。

6. セッティング/ディスプレイ・セクション

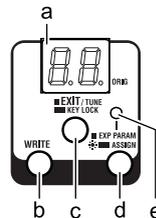
a. プログラム (バリュー)・ディスプレイ

通常はプログラム・ナンバーを表示します。

チューナーを使用しているときは、音名を表示します。

パラメーターのエディット時は、パラメーターの値を表示します。

パラメーターの値がオリジナル・バリューと一致すると、ディスプレイの右下にあるドット LED が一瞬消灯します (p.11、「パラメーターのオリジナル・バリュー表示」)。



b. WRITE (ライト) スイッチ

設定した音色を保存するときに使用します (p.12、「プログラムを保存しよう」)。

c. EXIT/TUNE (イグジット/チューン) スイッチ

プログラムの保存などの操作を中止するときに押します。

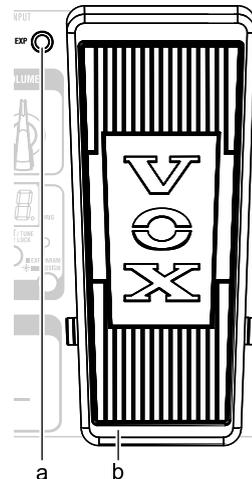
CABINET スイッチの LED や QUICK ASSIGN LED、プログラム・ディスプレイが点滅していないときにこのスイッチを押すと、チューナーを使用することができます (p.23、「チューニングの方法」)

スイッチを 2 秒程度押すと、トップ・パネルのスイッチ、セレクトター、ツマミでの操作を無効にする、**キー・ロック機能**を設定することができます。この機能を解除するときは、もう一度スイッチを 2 秒程度押します。

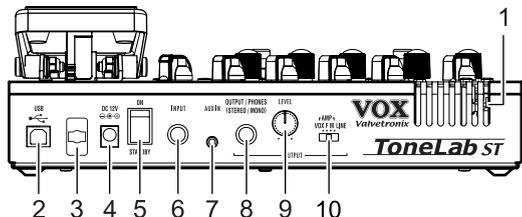
- d. EXP PARAM (エクスプレッション・パラメーター) スイッチ
ペダルに割り当てられたパラメーターの最大値と最小値を設定することができます。詳しくは、「エクスプレッション・ペダルの最小値、最大値」(p.25) を参照してください。
QUICK ASSIGN LED が点灯しているときにこのスイッチを2秒程度押し、エフェクトのパラメーターを、エクスプレッション・ペダルに割り当てることができます (p.24、「エクスプレッション・ペダルの機能の割り当て (クイック・アサイン)」)
- e. QUICK ASSIGN (クイック・アサイン) LED
クイック・アサイン機能が有効なときは点灯し、エクスプレッション・ペダルの可変範囲の設定時は点滅します。

7. エクスプレッション・ペダル・セクション

- a. EXP LED
エクスプレッション・ペダルに割り当てられたエフェクトがONのときに点灯します。
- b. エクスプレッション・ペダル
エクスプレッション・ペダルに割り当てたボリュームやワウをコントロールしたり、その他のエフェクトのパラメーターをコントロールします。
また、エクスプレッション・ペダルを強く踏み込むと、ペダルに割り当てられたエフェクトのONとOFFが切り替わります。
エクスプレッション・ペダルにボリュームが割り当てられているときは、ペダルを踏み込んでボリューム・ペダルの機能はOFFになりません。



リア・パネル



1. バルブ

真空管 12AX7 (ECC83) が内蔵されています。

NOTE: 真空管は、衝撃を与えると割れる場合があります。強い衝撃を与えないように注意してください。

2. USB 端子 (Type B)

市販の USB ケーブルでコンピューターと接続し、コンピューター上のライブラリアン・ソフトウェアでユーザー・プログラムを管理したり、本機を USB オーディオ・インターフェイスとして使用します。

3. コード・フック

AC アダプターが簡単に外れないように、ここに AC アダプターのコードをかけます。

使い方は、「接続しよう」(p.8) を参照してください。

4. DC12V 端子

付属の AC アダプターを接続します。

NOTE: AC アダプターは本機専用です。他の製品で使用すると、故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

5. STANDBY (スタンバイ) スイッチ
電源を入れたり、切ったりします。

6. INPUT (インプット) 端子
ギターのケーブルを接続します。

7. AUX IN (エーユーエックス・イン) 端子
オーディオ機器の出力 (アナログ) と接続する、ステレオ・ミニ端子です。
CD や MP3 プレイヤーなどを接続して再生し、曲に合わせて演奏する場合に便利です。再生時の音量は、接続した機器で調整してください。

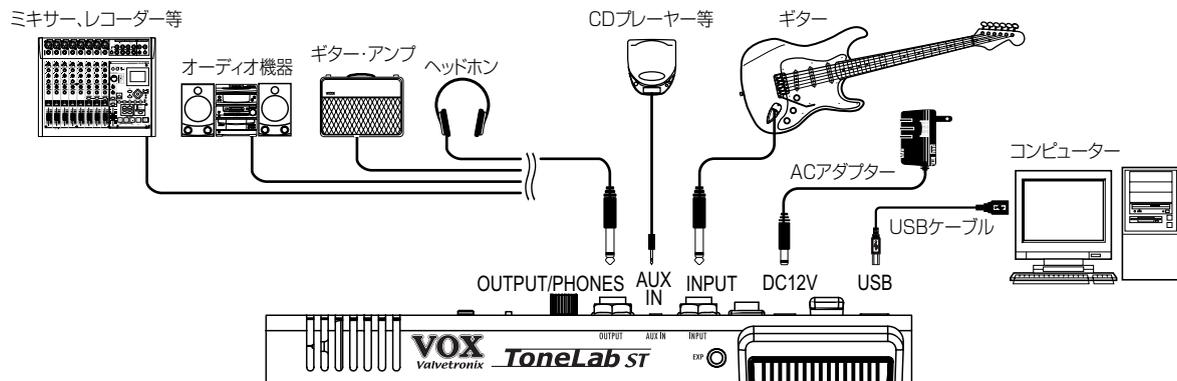
8. OUTPUT/PHONES (アウトプット/ホーン) 端子
ギター・アンプ、ミキサー、ヘッドホン等を接続します。ステレオとモノラルの兼用です。

9. LEVEL (レベル) ツマミ
OUTPUT/PHONES 端子の出力レベルを調整します。

10. AMP/LINE (アンプ/ライン) スイッチ
OUTPUT/PHONES 端子に何を接続するかによって、スイッチの設定が異なります。
詳しくは、「接続しよう」(p.8) を参照してください。

接続しよう

接続して、音を出してみましょう。



1. OUTPUT/PHONES 接続する機器に合わせて、AMP/LINE スイッチを設定します。

AMP/LINE スイッチは、以下のように設定します。

AMP (VOX、F、M)

ギター・アンプと接続するときは VOX、F または M を選択します。この設定で、必要に応じてアンプ・モデルからの出力が補正されます。ただし、アンプ・モデルがオフのときには補正されません。

- **VOX:** VOX 製オープン・バックのコンボ・アンプ AC30 のような、中域にクセがあるアンプに接続する場合。
- **F:** US 製オープン・バックのコンボ・アンプのような、クリーン・サウンドを得意とするアンプに接続する場合。

- **M:** 4 x 12 クローズド・バック・キャビネットなど、スタック・タイプのアンプに接続する場合。

LINE

ギター・アンプのパワーアンプ、オーディオ機器、ミキサー、レコーダー、またはヘッドホンを接続するときに選択します。

2. 本機の OUTPUT/PHONES 端子と、ギター・アンプ、ミキサー等を、ケーブルで接続します。

NOTE: ギター・アンプやミキサーの音量は、あらかじめ下げておいてください。

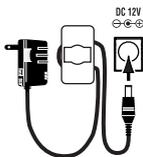
OUTPUT/PHONES 端子はステレオ出力です。標準プラグを接続します。

モノラル標準プラグでアンプ等に接続したときは、L チャンネル（左側）の音のみが出力されます。

ミキサーやレコーダー等にステレオで接続するときは、「標準ステレオ・プラグ（出力）→モノラル標準プラグ x2（入力）」の変換ケーブルを使用してください。

3. リア・パネルの LEVEL ツマミを“0”（リア・パネル側から見て左に回し切る）にします。
4. 付属の AC アダプターのプラグを DC12V 端子に接続し、AC アダプターをコンセントに接続します。
AC アダプターのコードを、コード・フックにかけます。
5. ギターに接続したケーブルを、INPUT端子に接続します。
6. アンプやミキサーの音量が下がっていることを確認してから、STANDBY スイッチを ON にします。
7. アンプやミキサー、リア・パネルの LEVEL ツマミを上げて、音量を調整します。

NOTE: 本機は真空管を使用しているため、真空管が温まるまでの数秒間は、音が出ないことがあります。



プログラムを聴いてみよう

プログラムは全部で 100 あります。そのうち、書き替え可能なユーザー・プログラム (No.0 ~ 49) と、プリセット・プログラム (No.50 ~ 99) があります。

詳しくは、「プリセット・プログラム・リスト」(p.31) を参照してください。

1. UP または DOWN ペダルを押して、プログラムを切り替えます。
ギターを演奏しながらサウンドを聴いてみましょう。
プログラムごとに、エクスプレッション・ペダルにワウやボリューム、ディレイのフィードバック、リバーブへの入力レベル、その他のエフェクトのパラメーターなどが割り当てられています。
エクスプレッション・ペダルを操作して試してください。
HINT: UPペダルを押しながらEXIT/TUNEキーを押すと、プログラムが 10 繰り上がります。同様に、DOWN ペダルを押しながらEXIT/TUNEキーを押すと、プログラムが 10 繰り下がります。

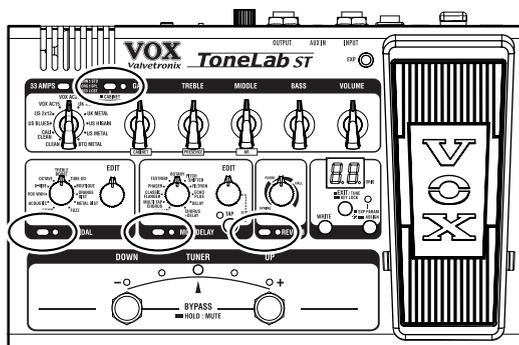
好みの音を作ろう

音作りをするときは、作りたい音に近い既存のプログラムを元にして、パラメータなどを変更しながら上げていく方法と、何も無い白紙の状態からプログラムを作り上げていく方法とがあります。

音作り

ここでは白紙の状態からプログラムを作る方法を説明します。

1. **キャビネット・モデル、エフェクト・タイプを OFF にします。**
CABINET ON/OFF スイッチ、MOD/DELAY ON/OFF スイッチ、REVERB ON/OFF スイッチの LED が点灯しているときは、をそれぞれのスイッチを押して OFF にします。



2. **AMP バンクセレクト・スイッチを押してバンクを選択し、AMP セレクターでアンプ・モデルを選びます。**

AMP バンクセレクト・スイッチを押すたびに、バンクが STD (Standard)、SPL (Special)、CST (Custom)、STD... と切り替わります。

アンプ・モデルの詳細については、「アンプ・モデル」(p.13) を参照してください。

3. **GAIN、TREBLE、MIDDLE、BASS、VOLUME の各コントロールで、音色や音量を調整します。**

GAIN コントロールでゲインを調整します。

TREBLE、MIDDLE、BASS の各コントロールで、高音、中音、低音の音色を調整します。

VOLUME コントロールで音量を調整します。

HINT: TREBLE、MIDDLE、BASS の各コントロールや、他のエフェクトの設定によっては、音が不快に歪むことがあります。そのときは、VOLUME コントロールで適切な音量になるように調整してください。

4. **必要に応じて、キャビネット・モデルを設定したり、高音域の音色を設定します。**

キャビネット・モデルを ON にする

CABINET ON/OFF スイッチを押します。このとき LED が点灯します。

キャビネット・モデルを変更する

CABINET ON/OFF スイッチを 1 秒程度押し、OPTION パラメーター設定モードに入り (CABINET ON/OFF スイッチの LED が点滅) ます。そして、GAIN コントロールを回します。

キャビネット・モデルの詳細については、「キャビネット・モデル」(p.17) を参照してください。

高音域を調整する (プレゼンスの調整)

CABINET ON/OFF スイッチを 1 秒程度押して OPTION パラメーター設定モードに入り、TREBLE コントロールを回します。

5. その他のセクションから、エフェクトを選択し調整します。

例えば、ディレイを加える場合、MOD/DELAY セレクターを回して DELAY を選択します。

セレクターが、すでに DELAY を選択している場合は、他のディレイ・タイプに一旦切り換えてから、再度 DELAY を選択します。TAP スイッチや EDIT ツマミを使って、ディレイ・タイムの設定やディレイ・レベル (ディレイ音のミックス量)、フィードバックを調整します。

ディレイ・タイムの設定

TAP スイッチを 2 回押す (押した間隔でタイムを設定)

ディレイ・レベル、フィードバックの調整

ディレイ・レベル：EDIT ツマミを回す。

フィードバック：TAP スイッチを押しながら EDIT を回す。

エフェクト・タイプの詳細については「エフェクト・タイプ」(p.18) を参照してください。

HINT: ペダル・エフェクトを選択した場合、他のエフェクトがかかっていない方が、調整しやすい場合があります。そのときは、アンプ・モデルやキャビネット・モデルを設定した後の、他のエフェクトを設定する前に調整するとよいでしょう。

6. 気に入った音に仕上がったら、本機にプログラムとして保存します。

保存の方法は、「プログラムを保存しよう」(p.12) を参照してください。

NOTE: 保存する前に、他のプログラムに切り替えたり電源を切ったりすると、設定した内容は元に戻ります。

パラメーターのオリジナル・バリュー表示

プリセット・プログラムやユーザー・プログラムに保存されているパラメーターの値 (オリジナル・バリュー) を確認することができます。

ツマミでパラメーターの値を変更しているときに、オリジナル・バリューと一致すると、プログラム・ディスプレイ内にある右下の LED が一瞬点灯します。

HINT: 気に入ったプログラムがどんな設定になっているかが知りたい場合は、オリジナル・バリュー表示を活用するとよいでしょう。

NOTE: リア・パネルの LEVEL ツマミ、AMP/LINE スイッチの設定は保存されないため、オリジナル・バリューは表示されません。また TAP スイッチによって SPEED パラメーターや TIME パラメーターを設定した場合も、SPEED パラメーターと TIME パラメーターのオリジナル・バリューは表示されません。

ノイズ・リダクションの調整

ノイズ・リダクションでは、ノイズを抑える効果を設定します。これは、プログラムごとに設定します。

HINT: ハイゲインのアンプ・モデルを使用するときは、ノイズが出やすいので、ノイズ・リダクションを使用することをお奨めします。

1. CABINET ON/OFF スイッチを 1 秒程度押して、OPTION パラメーター設定モードに入ります。

CABINET ON/OFF スイッチの LED が点滅します。

2. MIDDLE コントロールを回して、ノイズ・リダクションの感度を調整します。

右に回すほど、ノイズを抑える効果が上がります。

左に回しきるとノイズ・リダクションがオフになり、効果がなくなります。

NOTE: 使用するギターによっては、ノイズ・リダクションの効果を上げすぎると、音が途切れることがあります。

3. 設定が終わったら、EXIT/TUNE スイッチを押します。

プログラムを保存しよう

気に入ったサウンドに仕上がったら、保存（ライト）します。

NOTE: プログラムの内容を変更した場合、保存する前に、他のプログラムに切り替えたり電源を切ったりすると、変更した内容は元に戻ります。

1. WRITE スイッチを押します。

プログラム・ディスプレイと UP/DOWN ペダルの LED が点滅します。

2. UP または DOWN ペダルを押して、保存先のユーザー・プログラム (No.0 ~ 49) を選びます。

保存先を選ぶときに、UP ペダルを押しながら EXIT/TUNE キーを押すと、プログラムが 10 繰り上がります。同様に、DOWN ペダルを押しながら EXIT/TUNE キーを押すと、プログラムが 10 繰り下がります。

NOTE: ここで選択したプログラムに上書きで保存されます。大切なプログラムが消去されないよう、気をつけてください。また、プリセット・プログラム (No.50 ~ 99) には保存することはできません。

HINT: ライト操作を中止する場合は、EXIT/TUNE スイッチを押します。元のモードに戻り、LED の点滅が停止します。

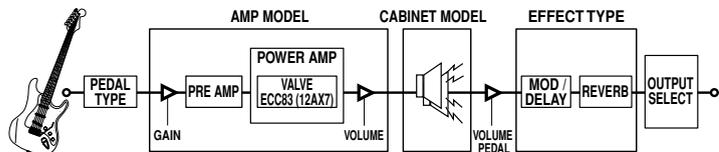
3. WRITE スイッチをもう 1 度押します。

手順 2 で選んだユーザー・プログラムに、新たなプログラムが上書きで保存され、UP/DOWN の LED が点灯に戻ります。

アンプ・モデル、キャビネット・モデル、各種エフェクト・タイプについて

ここでは、アンプ・モデル、キャビネット・モデル、そしてペダル・エフェクト、モッド / ディレイ・エフェクト、リバーブ・エフェクトの、各種エフェクト・タイプについて説明します。

本機の信号の流れは、以下のようになっています。



アンプ・モデル

33 種類のアンプ・モデルについて説明します。

HINT: 各アンプ・モデルの GAIN (トップ・パネルの GAIN コントロールで設定) は、エクスプレッション・ペダルに割り当ててコントロールすることができます。エクスプレッション・ペダルへパラメーターを割り当てる方法については、「エクスプレッション・ペダルの機能の割り当て (クイック・アサイン)」(p.24) を参照してください。

1. CLEAN

STD (Standard)

完全受注生産されるオーバードライブ・スペシャルと名付けられた、高級アンプのクリーン・チャンネルをモデリングしました。丸みの

ある美しい低域、立ち上がりの早いミッド・レンジのアタック、甘美なトレブル音は、シングル・コイル・ピックアップに最適です。

SPL (Special)

1975 年より販売されている 2 x 12" スピーカーを搭載した、日本製アンプのクリーン・チャンネルをモデリングしました。フルレンジのクリーン・サウンドとステレオ・コーラスが搭載されていることで知られ、世界中のステージやスタジオで利用されています。

CST (Custom)

歪みのない純粋なクリーン・トーンを得る、4 バンド・トーン・コントロールのみのモデルです。GAIN コントロールは無効となり、BASS、MIDDLE、TREBLE を中央に、PRESENCE を最小にすると、アンプ・モデルが OFF の状態と同じになります。LINE 入力時のような煌びやかなトーンを得るためには、キャビネット・モデルを OFF にしてください。

2. CALI CLEAN

STD (Standard)

6G5-A "Pro" アンプは、1960 ~ 1963 に生産され、黄褐色のビニール・カバーと茶色く丸いツマミが特徴となっています。この 40W のコンボ・アンプは、暖かくクリーンなトーンで知られています。

SPL (Special)

このアメリカ製ツイード地の 57 年製 2x12" コンボ・アンプは、クラシック・ロックやブルース、カントリーに最適な、リッチなクリーン・トーンで知られています。ボリュームを上げるとパワフルでパンチの効いたオーバードライブ・サウンドを生み出すことも可能。

CST (Custom)

アメリカ製のブラック・パネルのアンプを改造したものをモデリン

グしています。この改造では、元々の素晴らしいアンプに更なるスムーズさと暖かみが加えられています。

3. US BLUES

STD (Standard)

もともとベース・ギター用に設計された 1959 年製 4x10" コンボ・アンプをモデリングしました。スムーズで抜けの良いオーバードライブ・サウンドで、ピッキングの強弱やギターのボリュームに敏感に反応します。

SPL (Special)

VOX の特別な仲間であり、カスタム・アンプ・デザイナーのトニー・ブルーノの好意により実現した 22W の Bruno Cowtipper Pro II 22 のモデリングです。タッチに非常に敏感に反応し、絹のような甘いクリーン・トーンは、ボリューム・アップ時にはリッチな倍音を含むクランチ・サウンドとなります。

CST (Custom)

\$25,000 を超える価値のある、ウッド仕上げの 30W プティック・アンプ・ヘッドのモデリングです。このアンプはガラスのような、煌めくクリーン・トーンと、ゲインを上げたときは驚くほど音楽的にスイートなオーバードライブ・サウンドを提供します。

4. US 2x12

STD (Standard)

モデルとなったフロント・ブラック・アンプはカントリーやブルース・プレイヤー必須の 2 x 12" コンボです。深みのあるピアノ風ベース音を含んだタイトなクリーン・サウンドで、特にシングル・コイル・ピックアップで使用するとクラシックなシカゴのブルース・トーンを生み出します。

SPL (Special)

無類のクオリティと真のポイント・トゥ・ポイント・ワイアリングで著名な、美しい 30W のプティック・アンプ・ヘッドのモデリングです。VOX AC30 に似たコンセプトのこのアンプは、豊富な倍音と輝かしいクリーントーン、そして心地よいオーバードライブで有名です。

CST (Custom)

クランチな歪みのアンプを基に、トーン・コントロールを旧来よりも効きの強いアクティブ回路のものにし、幅広い音色作りを可能にしたオリジナル・アンプ・モデルです。TREBLE を効かせた煌びやかなカッティング、逆に下げて渋めのブルース・セッティング、MIDDLE を効かせたロックなバックングなど、様々な状況に対応します。

5. VOX AC15

STD (Standard)

AC15 の低出力パワー・アンプの甘美で理想的な音色特性と、AC30 のトップ・ブースト・チャンネルの自由度の高い音色を組み合わせた、AC15TB のモデリングです。

SPL (Special)

コンパクトなキャビネット、パワー、そして素晴らしい音色で、当時人気のあったプリティッシュ・バンドと共に大ヒットになった、1962 年製 VOX AC15 (1x12", 15W) のチャンネル 2 をモデリングしました。

CST (Custom)

ロックに最適なパワーあるディストーションが得られる英国のオールド・アンプを基に、トーン・コントロールを旧来よりも効きの強いアクティブ回路のものにし、幅広い音色作りを可能にしたオリジナル・アンプ・モデルです。

フラット設定でのベーシックなディストーション・サウンドから、アクティブ・トーン回路を生かした個性あるリード・サウンドまで演出します。

6. VOX AC30

STD (Standard)

1964 年以降の「トップ・ブースト」回路を標準仕様として搭載した AC30 のモデリングです。スムーズかつ繊細なトップ・エンドを持ち、威厳のある野太いオーバードライブや、豊かで華やかなクリーン・サウンドを生み出します。

SPL (Special)

VOX の 50 周年を記念して発売されたハンド・ワイアードのオール・チューブアンプ・ヘッド AC30HH をモデリングしました。このアンプは、煌めくチャイムのようなクリーン・サウンド、そしてクリーミーで暖かみのあるオーバードライブ・サウンドで他の追隨を許しません。

CST (Custom)

伝説的な 50 年代のオリジナル AC30 のあらゆるニュアンスを忠実に再現した、AC30BM プライアン・メイ・シグネチャー・モデルをモデリングしました。本機では、アンプをオーバードライブさせ、トレブル・ブースターをオンにしたスクリーミング・サウンドをお届けします。

7. UK ROCK

STD (Standard)

もともと 1962 年から 66 年に製造されたこの 45W のアンプ・ヘッドは、ツイード地のベース・アンプを基に作られましたが、よりハイゲインな設計は、今日まで続くブリティッシュ・アンプ・トーン革命の始まりでもありました。

SPL (Special)

1983 年、UK 製 100W マスター・ボリウム付きシングル・チャンネルのヘッドをモデリングしました。ゲイン・コントロールをフルアップすると、80 年代を制覇した、うなるような太いハード・ロックやヘビー・メタル・サウンドが得られます。

CST (Custom)

60 年代初期にイングランドで、ハンド・ワイヤリングによって作られたヘッドのハイ・トレブル・チャンネルをモデリングしました。この 50W 出力のアンプの音量を一杯上げると、ロックン・ロール・サウンドとして永遠に変わらないクランチを生み出します。

8. UK METAL

STD (Standard)

100W のモダン・アンプのハイゲイン・チャンネルをモデリングしました。個々の音に輪郭を持ちながらも、かなり攻撃的で鼻息の荒いモンスター・サウンドに仕上がっています。

SPL (Special)

パワフルなトーンの 4 チャンネル仕様が自慢の 2007 年にリリースされたイギリス製 100W アンプ・ヘッドのモデリングです。本機では、タイトな低音と鮮明なハイゲイン・メタルサウンドが得られる“Overdrive 1”チャンネルを採用しました。

CST (Custom)

UK 製の 100W ヘッドを基に、驚くべきトーンとスラッシュなリズム、そしてシルクハット好きで知られる著名ギタリストのために作られました。貴方に極上のメタル・トーンの欲求があるなら、このアンプは最高のチョイスとなります。

9. US HIGH GAIN

STD (Standard)

北ハリウッドで製作された 100W のブティック・アンプ・ヘッドのモデリングです。このアンプでは、パワー管のクラス AB とクラス A モードの切り替えが可能で、本機が採用したクラス AB モードでは、リッチな倍音と音楽的レスポンスが得られます。

SPL (Special)

蛇皮でカバーされた 1991 年製 100W アンプ・ヘッドのオーバードライブ・チャンネルをモデリングしました。オープンなローエンドと圧縮した中 / 高域を組み合わせた、パワフルでヘヴィーなサウンドで、どんな極端なゲイン設定でも芯の通った迫力のあるトーンになります。

CST (Custom)

近年のハイゲイン・アンプを基に、トーン・コントロールを旧来よりも効きの強いアクティブ回路のものにし、幅広い音色作りを可能にしたオリジナル・アンプ・モデルです。

BASS を上げ重低音を出したり、MIDDLE の上げ下げでホットなリードサウンドや、ドンシャリなサウンドを演出したりと様々な応用が考えられます。

10. US METAL

STD (Standard)

猛獣のごときハイゲイン・アンプの、モダン・ハイゲイン・チャンネルをモデリングしました。深く、ルーズなローエンド、きらめく高域、モンスターのようなゲインは、できるだけ低くチューニングしたギターや 7 弦ギターを振ったメタル・アクトに最適です。

SPL (Special)

3 チャンネル仕様で多様なゲイン・スイッチ群によりワイドでバラ

エティに富んだサウンドを持つ、カリフォルニア産、アンプ・ヘッドのモデリングです。本機では、究極のハイゲイン・トーンが得られるリード・チャンネルをモデリングしています。

CST (Custom)

ミシシッピで作られたこの 120W の 2 チャンネル・ヘッドは、“Brown Sound” で著名な伝説的ギター・ヒーローのためにデザインされました。このアンプ・モデルでは、タッピング奏法に最適なハイゲイン・サウンドをフィーチャーしています。

11. BOUTIQUE METAL

STD (Standard)

完全受注生産されるオーバードライブ・スペシャルと名付けられた、100W 高級アンプのオーバードライブ・チャンネルをモデリングしました。GAIN コントロールを上げたときの素晴らしいサスティーンは、スムーズでソウルフルです。

SPL (Special)

100W のドイツ製 4 チャンネル・アンプ・ヘッドより放出される破壊的なハイゲイン・サウンドをモデリングしました。本機では、ドロップ D・メタル・チューニングでプレイしたときに、驚くべきタイトさをもたらす“Heavy”チャンネルをチョイスしました。

CST (Custom)

近年のハイゲイン・アンプを基にし、中域が豊かでホットな音色と極めて強烈なロングトーンが特徴のオリジナル・アンプ・モデルです。

本モデルもトーン・コントロールがアクティブ回路のものを採用しているため、幅広い音色作りが可能です。

キャビネット・モデル

ギター・アンプのキャビネットの音響特性をシミュレートしていません。

1. TWEED 1x8

6V6 出力管を持つシンプルな構成のアンプに搭載されている、8 インチ、3.2Ω のアルニコ・スピーカーのオープン・バック・キャビネットです。

2. TWEED 1x12

Tweed 1x12 アンプの音色に大きく影響しているキャビネットです。スピーカーは、アルニコ・マグネットです。

3. TWEED 4x10

4つの10インチ、8Ωのスピーカーを使用し、パラレル接続で2Ωのインピーダンスになっているオープン・バックのキャビネットです。

4. BLACK 2x10

セラミック・マグネットの10インチ・スピーカー2発を搭載した35Wオープン・バック・コンボのキャビネットです。

5. BLACK 2x12

12インチのセラミック・マグネット・スピーカーを2発搭載し、パラレル接続でトータル4Ωの負荷になっています。

6. VOX AC15

英国セレクション製、名高い“VOXブルー・アルニコ・スピーカー”を使用した12インチ1発のオープン・バック・コンボのキャビネットです。

7. VOX AC30

偉大なるVOXサウンドは、2発の12インチVOXブルー・アルニコ・スピーカーを16Ω用にシリアル接続したこのスピーカー・キャビネットで完成されています。

8. VOX AD120VTX

ネオジウム・マグネットを採用したカスタム・デザインセレクション製スピーカー2発を搭載した、クローズド・バック・キャビネットVTXです。

9. UK H30 4x12

下のUK T75 4x12と同じメーカー製、60年代後期の30Wスピーカーを搭載したヘビー・デューティなキャビネットです。

10. UK T75 4x12

よりモダンな、75ワット英国製スピーカーを搭載した4x12キャビネットです。

11. US V30 4x12

“黒い野獣”とでも呼ぶべきこのキャビネットは、英国製の“Vintage”と名づけられたスピーカーを使用しており、深い低域と、輪郭のある高域で知られています。

アンプとキャビネットの組み合わせ例

アンプ・モデルとキャビネット・モデルを自由に組み合わせて、多様なサウンドを作ることができますので、自由な発想でいろいろな組み合わせを試してください。

ここでは、代表的な組み合わせを紹介します。

アンプ・モデル	キャビネット・モデル	
CLEAN	2	TWEED 1x12
	4	BLACK 2x10
	5	BLACK 2x12
	9	UK H30 4x12
	アンプ・モデルがCST のときは、キャビネット・モデルをOFF にすることを推奨	
CALI CLEAN	1	TWEED 1x8
	2	TWEED 1x12
	4	BLACK 2x10
	5	BLACK 2x12
US BLUES	2	TWEED 1x12
	3	TWEED 4x10
	5	BLACK 2x12
	9	UK H30 4x12
US 2x12	4	BLACK 2x10
	5	BLACK 2x12
VOX AC15	6	VOX AC15
	7	VOX AC30
	8	VOX AD120VTX
VOX AC30	6	VOX AC15
	7	VOX AC30
	8	VOX AD120VTX
UK ROCK	9	UK H30 4x12
	10	UK T75 4x12
UK METAL	9	UK H30 4x12
	10	UK T75 4x12

アンプ・モデル	キャビネット・モデル	
US HIGAIN	10	UK T75 4x12
	11	US V30 4x12
US METAL	10	UK T75 4x12
	11	US V30 4x12
BOUTIQUE METAL	9	UK H30 4x12
	10	UK T75 4x12
	11	US V30 4x12

エフェクト・タイプ

ここではペダル・タイプ、モッド/ディレイ・タイプ、リバース・タイプについて説明します。

本機の信号の流れは、13 ページの図を参照してください。

ペダル・タイプ

本機は、ペダル・エフェクトで最もポピュラーな 11 種類のペダル・タイプを用意しています。EDIT ツマミで、おもなパラメーターを設定することができます。

HINT: エクスプレッション・ペダルに割り当てることができるパラメーターに「*」を付けています。

1. COMP

パーカッシブなクリーン・サウンドで人気の高いコンプレッサー・ペダルをモデリングしました。80年代、90年代のポップやファンクのリズムにピッタリです。また、歌うようなメロウなサスティーンも得

られます。

つまみ	パラメーター	
EDIT	SENS*	感度を調整。右に回すほどコンプレッション、サスティーンの量が増加。

2. ACOUSTIC

アコースティックなサウンドを弾きたいときに最適です。エレキ・ギター音をアコースティック・ギターの音に変換するシミュレーターです。
シングル・コイル（つまり低出力）のネック（フロント）・ピックアップでの使用をお奨めします。

つまみ	パラメーター	
EDIT	TONE*	音色を調整。

3. VOX WAH

伝説のVOXワウ・ペダル V848 Clyde McCoy をモデリングしました。喉からしぼり出すような独特のトーンにより、多くのプロ・ミュージシャンの人気の的となったペダルです。

HINT: VOX WAH を選択すると、エクスプレッション・ペダルは自動的にワウ・ペダルとして動作します。

つまみ	パラメーター	
EDIT	MANUAL*	音色を調整。

4. U-VIBE

かの有名なペダル付きのフェイス / ビブラートをモデリングしました。このエフェクトは回転スピーカーをシミュレートし、とても誘惑的で情感のあるトーンを作り出します。

つまみ	パラメーター	
EDIT	SPEED*	ビブラートの速さを調整。

5. OCTAVE

1 オクターブ低い音を作り出し、原音に混ぜ合わせることによって音に重量感を与えるペダルのモデリングです。

つまみ	パラメーター	
EDIT	LEVEL*	1 オクターブ低い音のミックス量を調整。

6. TREBLE BOOST

VOX AC30 を使うことを想定してデザインされた、VOX VBM-1 内蔵のトレブル・ブースターをモデリングしました。
オーバードライブ・サウンドに「クランチ感」を加えます。

つまみ	パラメーター	
EDIT	GAIN*	ゲインを調整。

7. TUBE OD

緑色のボックスに入ったオーバードライブ・ペダルをモデリングしたもので、その作り出すサウンドの温かみが何とも言えず素晴らしいため、伝統のクラシックなエフェクトとなっています。

つまみ	パラメーター	
EDIT	GAIN*	ゲインを調整。

8. BOUTIQUE

ギリシャ神話に登場する、半人半馬の名前を持つオーバードライブをモデリングしました。ゲインを下げるとギターの原音を損なわないブースターとして、ゲインを上げると豊かなミッドレンジを持つオーバードライブとして使用できます。

つまみ	パラメーター	
EDIT	GAIN*	ゲインを調整。

9. ORANGE DIST

日本製のオレンジ色のボックスに入った、クラシックなディストーションです。

ツマミ	パラメーター	
EDIT	GAIN*	ゲインを調整。

10.METAL DIST

メタルに最適なディストーションです。

ツマミ	パラメーター	
EDIT	GAIN*	ゲインを調整。

11.FUZZ

レトロっぽく、あつかましくて荒削り、そんなイメージを作ります。

ツマミ	パラメーター	
EDIT	GAIN*	ゲインを調整。

モッド/ディレイ・タイプ

本機では、モジュレーション・エフェクト、ディレイ・エフェクト、その他のエフェクトの中から、11種類のエフェクト・タイプを用意しました。

モジュレーション・タイプの SPEED パラメーターや、ディレイ・タイプの TIME パラメーターは、TAP スイッチを2度押すことで簡単に設定することができます。

また EDIT ツマミで、おもなパラメーターを設定できる (EDIT 1) ほか、TAP スイッチ押しながら EDIT ツマミを回すことで、更に細かな設定が可能 (EDIT 2) です。

HINT: エクスプレッション・ペダルに割り当てることができるパラメーターに「*」を付けています。エクスプレッション・ペダルへパラメーターを割り当て方法については、「エクスプレッション・ペダルの機能の割り当て (クイック・アサイン)」(p.24) を参照してください。

1. CLASSIC CHORUS

スタンダードの豊かなアナログ・コーラス・ユニットのモデリングです。

ツマミ / スイッチ	パラメーター	
EDIT	DEPTH*	モジュレーションの深さを調整。
TAP	SPEED*	モジュレーションのスピードを 0.1...15 Hz の範囲で設定。
TAP+EDIT	SPEED*	スピードを調整。

2. MULTI TAP CHORUS

レフト / センター / ライトにそれぞれ独立したコーラス・タップを持ち、深く広がりのあるコーラスです。

ツマミ / スイッチ	パラメーター	
EDIT	DEPTH*	モジュレーションの深さを調整。
TAP	SPEED*	モジュレーションのスピードを 0.1...15 Hz の範囲で設定。
TAP+EDIT	SPEED*	スピードを調整。

3. CLASSIC FLANGER

「両手タッピングのゴッドファーザー」と多くの人が崇める現代の有名ギタリストを生んだ、真にクラシックなアナログ・フランジャーのモデリングです。

ツマミ / スイッチ	パラメーター	
EDIT	RESONANCE*	レゾナンスの量を調整。

ツマミ/スイッチ	パラメーター	
TAP	SPEED*	モジュレーションのスピードを0.1...15 Hzの範囲で設定。
TAP+EDIT	SPEED*	スピードを調整。

4. PHASER

バナナ色のボックスに入った人気の高いアナログ・フェイザーのモデリングです。

ツマミ/スイッチ	パラメーター	
EDIT	RESONANCE*	レゾナンスの量を調整。
TAP	SPEED*	モジュレーションのスピードを0.1...15 Hzの範囲で設定。
TAP+EDIT	SPEED*	スピードを調整。

5. TEXTREM

US 製コンボアンプに搭載されている評判の高いトレモロ回路のモデリングです。

ツマミ/スイッチ	パラメーター	
EDIT	DEPTH*	トレモロの深さを調整。
TAP	SPEED*	モジュレーションのスピードを1.0...15 Hzの範囲で設定。
TAP+EDIT	SPEED*	スピードを調整。

6. ROTARY

ロータリー・スピーカーのモデリングです。

ツマミ/スイッチ	パラメーター	
EDIT	DEPTH*	モジュレーションの深さを調整。
TAP	SPEED*	モジュレーションのスピードを0.8...15 Hzの範囲で設定。
TAP+EDIT	SPEED*	スピードを調整。

7. PITCH SHIFTER

上下1オクターブの変化幅を持つ、和音入力可能なピッチ・シフターです。

ツマミ/スイッチ	パラメーター	
EDIT	BALANCE*	ダイレクト音とエフェクト音のバランスを調整。
TAP	PITCH*	エフェクト音のピッチ・シフト量を、オクターブ、4度、5度で設定。スイッチを押すたびに、-12, -7, -5, DT (Detune), +5, +7, +12, -12...と変化。
TAP+EDIT	PITCH*	エフェクト音のピッチ・シフト量を半音単位(100cent)で設定。-12, -11...-1, 0, DT (Detune), +1...+12と変化。

8. FILTRON

ギターの入力に応じてフィルターの開き具合が変わる、エンベロープ・コントロールド・フィルター（ワウ）です。

ツマミ/スイッチ	パラメーター	
EDIT	SENS*	ギターの音量に対する動作感度を調整。エクスペリション・ペダルにこのパラメーターを割り当てると、カットオフ周波数をエクスペリション・ペダルでコントロール可能となり、フィルターの開き具合は、ギターからの入力には影響されない。
TAP	TYPE	UP/DOWN 動作方向を設定。UP時は、TAPスイッチのLEDが点灯。
TAP+EDIT	RESONANCE*	レゾナンスの量を調整。

9. ECHO PLUS

評判の高いアナログ・テープ・エコーのモデリングです。もともとエコーは再生ヘッドで作られ、ディレイ・タイムはモーターのスピー

ドを変化させて設定します。

ツマミ/スイッチ	パラメーター	
EDIT	LEVEL*	ディレイ音のミックス量を調整。 エクスプレッション・ペダルにこのパラメーターを割り当てると、ディレイへの入力レベルをエクスプレッション・ペダルでコントロール可能。
TAP	TIME	40...1480 ms の範囲でディレイ・タイムを設定。
TAP+EDIT	FEEDBACK*	フィードバックの量を調整。

10.DELAY

バケット・ブリッジ・デバイス (BBD) を使用した、アナログ・ディレイのモデリングです。音質的にはロー・ファイですが、その暖かみのあるサウンドで評判です。

ツマミ/スイッチ	パラメーター	
EDIT	LEVEL*	ディレイ音のミックス量を調整。 エクスプレッション・ペダルにこのパラメーターを割り当てると、ディレイへの入力レベルをエクスプレッション・ペダルでコントロール可能。
TAP	TIME	40...1480 ms の範囲でディレイ・タイムを設定。
TAP+EDIT	FEEDBACK*	フィードバックの量を調整。

11.CHORUS+DELAY

コーラスとディレイの複合エフェクトです。コーラスのかかり具合は固定で、ディレイのパラメーターのみを変更することができます。

ツマミ/スイッチ	パラメーター	
EDIT	LEVEL*	ディレイ音のミックス量を調整。 エクスプレッション・ペダルにこのパラメーターを割り当てると、ディレイへの入力レベルをエクスプレッション・ペダルでコントロール可能。

ツマミ/スイッチ	パラメーター	
TAP	TIME	40...1480 ms の範囲でディレイ・タイムを設定。
TAP+EDIT	FEEDBACK*	フィードバックの量を調整。

リバーブ・タイプ

3種類のリバーブ・タイプを用意しました。

ツマミの位置によって、SPRING、ROOM、HALL のリバーブ・タイプの切り替えと、リバーブ音のミックス量を設定します。

HINT: エクスプレッション・ペダルにリバーブを割り当てると、リバーブへの入力レベルがエクスプレッション・ペダルによってコントロールすることができます。エクスプレッション・ペダルへパラメーターを割り当てる方法については、「エクスプレッション・ペダルの機能の割り当て (クイック・アサイン)」(p.24) を参照してください。

1. SPRING

ギター・アンプ内蔵のスプリング・リバーブを再現しました。

2. ROOM

初期反射音を多く含む、一般的な部屋のリバーブ・タイプです。

3. HALL

エコー成分を多く含むコンサート・ホールの残響をモデリングしています。

チューナー

本機はオート・クロマチック・チューナーを内蔵しています。

チューニングの方法

1. エフェクトをバイパスしながらチューニングするときは、UP ペダルと DOWN ペダルを同時に押します。

プログラム・ディスプレイには “ - - ” と表示されます。

HINT: QUICK ASSIGN LED やプログラム・ディスプレイが点滅していないときに EXIT/TUNE スイッチを押しても、エフェクトをバイパスしながらチューニングすることができます。

2. 音をミュートしてチューニングするときは、UP ペダルと DOWN ペダルを同時に 2 秒程度押します。

プログラム・ディスプレイには、“ - - ” と 1 秒間表示されてから “ _ _ ” と表示されます。ステージ上でのチューニングには、こちらをお勧めします。

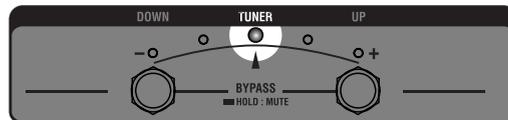
2. ギターを単音で弾いて、合わせたい音名がプログラム・ディスプレイに表示されるように、おおまかにチューニングします。

音名は次のように表示されます。

C	C [♯]	D	D [♯]	E	F	F [♯]	G	G [♯]	A	A [♯]	B
[[[♯]	d	d [♯]	E	F	F [♯]	G	G [♯]	A	A [♯]	b

3. プログラム・セクション / チューナー・セクションの LED を見ながら、ギターを正確にチューニングします。

中央の LED だけが点灯するようにチューニングします。



ギターの音が高いときには右側の LED が点灯し、ギターの音が低いときには左側の LED が点灯します。

4. チューニングが終わったら、UPまたはDOWNペダルを押します。

HINT: EXIT/TUNE スイッチを押しても元の動作に戻ることができます。

チューナーのキャリブレーション

キャリブレーションは、チューニングするための基準ピッチ（ピアノ中央の「ラ」の音 = A の周波数）です。設定範囲は、438Hz ~ 445Hz の範囲です。

NOTE: ここで設定したキャリブレーションは、電源を切ると無効となり、再び電源を入れると自動的に 440Hz になります。

1. 「チューニングの方法」(p.23) の手順 1 で、チューナーを起動させます。
2. EXIT/TUNE スイッチを押しながら、UP、DOWN ペダルで基準ピッチを調整します。
プログラム・ディスプレイには “38” ~ “45” (438Hz ~ 445Hz) と表示されますので、キャリブレーションを設定します。
3. EXIT/TUNE スイッチを離すと、キャリブレーションの設定が完了します。

エクスプレッション・ペダルによるコントロール

エクスプレッション・ペダルの設定

本機のプログラムは、エクスプレッション・ペダルにあらかじめ機能が割り当てられており、ワウやボリュームはもちろん、様々なエフェクト・パラメーターをエクスプレッション・ペダルでコントロールすることができます。

HINT: VOX WAH を選択すると、エクスプレッション・ペダルは、自動的にワウ・ペダルになります。

エクスプレッション・ペダルで、どのパラメーターをどのようにコントロールするかは、プログラムごとに設定し保存することができます。

プログラムを保存すると、そのときのエクスプレッション・ペダルの位置（傾き）が、設定値としてプログラムに保存されます。プログラムを選択すると、プログラムに保存された設定値が呼び出されます。

ただし、以下の値は保存されません。

- ボリューム
- ディレイ・エフェクトへの入力レベル
- リバース・エフェクトへの入力レベル
- PITCH SHIFTERの PITCH パラメーター
- FILTRONのカットオフ周波数

エクスプレッション・ペダルの機能の割り当て（クイック・アサイン）

本機では、エクスプレッション・ペダルにエフェクトのパラメーターやエフェクトへの入力レベル等を、簡単に割り当てることができます。

HINT: 割り当てることができるエフェクト・パラメーターについては、「アンプ・モデル、キャビネット・モデル、各種エフェクト・タイプについて」（p.13）を参照してください。

エクスプレッション・ペダルに機能を割り当てるときは

ここでは例として、ペダル・エフェクト U-VIBE の SPEED パラメーターをエクスプレッション・ペダルへ割り当ててみましょう。

1. エフェクトを ON にします。

ここでは、PEDAL ON/OFF スイッチを押して、ペダル・エフェクトを ON にします。

2. 各セクターでエフェクトを選び、EDIT ツマミを操作します。

PEDAL セクターで U-VIBE を選び、EDIT ツマミを操作します。このとき QUICK ASSIGN LED が点灯します。

3. EXP PARAM スイッチを 2 秒程度押します。

エクスプレッション・ペダルに SPEED パラメーターが割り当てられ、プログラム・ディスプレイには、“[P]” と 1 秒間表示されてからプログラム No. が表示されます。

4. 必要であれば、この設定をプログラムに保存します。

保存の方法は、「プログラムを保存しよう」（p.12）を参照してください。

NOTE: 保存する前に他のプログラムに切り替えたり、電源を切ったりすると、設定した内容は消えて元に戻ります。

ボリューム、ゲイン、リバーブやディレイ・エフェクトへの入力レベルを割り当てるときは、以下のように行います。

- **ボリューム:** VOLUME ツマミを操作してから、EXP PARAM スイッチを 2 秒程度押す。
- **ゲイン:** AMP ON/OFF スイッチを ON にし、GAIN ツマミを操作してから EXP PARAM スイッチを 2 秒程度押す。
- **リバーブ・エフェクトへの入力レベル:** REVERB ON/OFF スイッチを ON にし、REVERB ツマミを操作してから EXP PARAM スイッチを 2 秒程度押す。
- **ディレイ・エフェクトへの入力レベル:** MOD/DELAY ON/OFF スイッチを ON にし、MOD/DELAY セレクターで “ECHO PLUS”、“DELAY” または “CHORUS+DELAY” を選択する。そして、EDIT ツマミを操作してから EXP PARAM スイッチを 2 秒程度押す。

エクスプレッション・ペダルに機能を割り当てないときは

EXP PARAM スイッチを押しながら EXIT/TUNE スイッチを押します。エクスプレッション・ペダルへの機能の割り当てがなくなり、EXP LED は消灯します。

または、他のエフェクトへ変更しても、エクスプレッション・ペダルには、機能が割り当てられていない状態になります。ただし、以下では割り当てが変わらず、設定が引き継がれます。

- エクスプレッション・ペダルに、アンプ・モデルの GAIN パラメーターを割り当てた場合は、アンプ・モデルを変更してもエクスプレッション・ペダルには GAIN パラメーターが割り当てられる。

- エクスプレッション・ペダルにリバーブ・エフェクトへの入力レベルを割り当てた場合は、リバーブ・タイプを変更しても、エクスプレッション・ペダルにはリバーブへの入力レベルが割り当てられる。
- ディレイ・エフェクトの ECHO PLUS、DELAY、CHORUS+DELAY で、エクスプレッション・ペダルに入力レベルを割り当てた場合、その 3 種類のディレイ・エフェクトの中で変更したときは、エクスプレッション・ペダルにはディレイ・エフェクトへの入力レベルが割り当てられる。

エクスプレッション・ペダルの最小値、最大値

エクスプレッション・ペダルを手前に戻しきったときが最小値で、ペダルを奥に倒しきったときが最大値です。

エクスプレッション・ペダルにパラメーターやボリュームなどを割り当てると、エクスプレッション・ペダルの最小値、最大値がそれぞれ自動的に設定されます。

パラメーターの最小値、最大値の調整

エクスプレッション・ペダルにエフェクトのパラメーターを割り当てると、そのパラメーターの最小値、最大値を基本にしたエフェクトの操作上適度な範囲が、エクスプレッション・ペダルの最小値と最大値として設定されます。PITCH SHIFTER の PITCH パラメーターを割り当てた場合は、最小値に “0” (ピッチ・シフトなし) が、最大値に現在の値が設定されます。

最小値、最大値は、以下の手順で調整することができます。

NOTE: エクスプレッション・ペダルにリバーブ・エフェクトの入力レベルを割り当てた場合は、最小値と最大値は自動的に設定され、値を変更することはできません。

1. EXP PARAM スイッチを押します。

QUICK ASSIGN LED が点滅します。

エクスプレッション・ペダルにエフェクトが割り当てられているとき割り当てられているエフェクトの ON/OFF スイッチの LED が点滅し、プログラム・ディスプレイの表示に “ P_ ” と表示されます。

エクスプレッション・ペダルに機能が割り当てられていないときプログラム・ディスプレイに “ - - ” が点滅表示されてからプログラム No. が表示されます。このときは、クイック・アサインで機能を割り当ててください (p.24、「エクスプレッション・ペダルの機能の割り当て (クイック・アサイン)」)

2. 割り当てられているエフェクト (ON/OFF スイッチの LED が点滅) の EDIT ツマミ、または GAIN コントロールで、最小値を設定します。

HINT: 最小値を変更しないときは、次の手順へすすんでください。

3. EXP PARAM スイッチを押します。

プログラム・ディスプレイに “ P_ ” と表示されます。

4. 手順 2 で操作した EDIT ツマミ、または GAIN コントロールで、最大値を決めます。

HINT: 最大値を変更しないときは、次の手順へすすんでください。

NOTE: 設定を中止するときは、EXIT/TUNE スイッチを押します。

5. EXP PARAM スイッチを押します。

プログラム・ディスプレイには、“ [P ” と 1 秒間表示されてからプログラム No. が表示されます。

QUICK ASSIGN LED は消灯します。

NOTE: エクスプレッション・ペダルへの機能の割り当て、最小値、最大値はプログラムごとに設定します。

6. 必要であれば、この設定をプログラムに保存します。

保存の方法は、「プログラムを保存しよう」(p.12) を参照してください。

NOTE: 保存する前に他のプログラムに切り替えたり、電源を切ったりすると、設定した内容は消えて元に戻ります。

ボリュームの最小値、最大値の調整

エクスプレッション・ペダルに、ボリュームが割り当てられているときは、次のようにして最小値、最大値を調整します。

1. EXP PARAM スイッチを押します。

EXP LED、QUICK ASSIGN LED が点滅し、プログラム・ディスプレイに “ P_ ” と表示されます。

2. アンブ・セクションの VOLUME コントロールを操作し、最小値を決め、EXP PARAM スイッチを押します。

最小値が設定され、プログラム・ディスプレイに “ P_ ” と表示されます。

3. VOLUME コントロールを操作し最大値を決め、EXP PARAM スイッチを押します。

最大値が設定されます。プログラム・ディスプレイには、“ [P ” と 1 秒間表示されてから、プログラム No. が表示されます。

エクスプレッション・ペダルの感度の調整

エクスプレッション・ペダルの最小値と最大値に、それぞれパラメーターの最小値、最大値を設定しているにもかかわらず、エクスプレッション・ペダルを踏み込んだときにエフェクト効果や音量が最大にならなかつたり、戻したときにエフェクト効果や音量が最小にならない場合は、次のように本機を操作して、エクスプレッション・ペダルが最適に動作するように感度を調整してください。

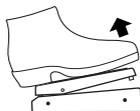
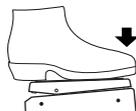
NOTE: 感度を調整するときは、エクスプレッション・ペダルを必ず足で操作してください。手で操作するとペダルの感度が調整できないことがあります。

1. 電源を OFF にします。
2. EXP PARAM スイッチと WRITE スイッチを押しながら、電源を ON にします。
3. プログラム・ディスプレイに “Pd” と表示されたら、スイッチから手を離します。

4. エクスプレッション・ペダルを、エフェクトの ON/OFF を切り替えるように踏み込みます。

この踏み込みが、エクスプレッション・ペダルに割り当てられたエフェクトを、ON または OFF にする荷重として設定されます。

5. エクスプレッション・ペダルを足で手前にゆっくりと戻し、止まったら足を離します。



6. エクスプレッション・ペダルを軽く踏み込んで、止まった位置で足を離します。

NOTE: 感度の調整を中止するときは、EXIT/TUNE スイッチを押します。

7. WRITE スイッチを押します。

プログラム・ディスプレイには、“[P” と 1 秒間表示された後、プログラム No. が表示されます。

感度が調整できなかったときは、プログラム・ディスプレイに “Er” が点滅表示された後、“Pd” と続けて表示されます。このときは、手順 4 から操作を行ってください。

NOTE: 繰り返し操作しても感度が調整できないときは、本機が故障しているおそれがあります。そのときは、コルグお客様相談窓口へお問い合わせください。

コンピューターとの接続 (USB 接続)

市販の USB ケーブルで本機とコンピューターを接続すると、コンピューター上のライブラリアン・ソフトウェアでユーザー・プログラムを管理したり、本機を USB オーディオ・インターフェイスとして使用することができます。

ライブラリアン・ソフトを使用する

コンピューターに USB-MIDI ドライバをインストールすると、専用のライブラリアン・ソフトで、プログラムのバックアップやライブラリを管理することができます。

USB-MIDI ドライバとライブラリアン・ソフトは、ホームページ (www.voxamps.jp) からダウンロードしてください。ライブラリアン・ソフトの使用方法については、ライブラリアン・ソフトの取扱説明書 (PDF ファイル) を参照してください。

動作環境

Windows: Microsoft Windows XP SP3 以降、Windows Vista SP1 以降

Mac: OS X 10.4 以降 (Power PC G4 以上、または Intel CPU)

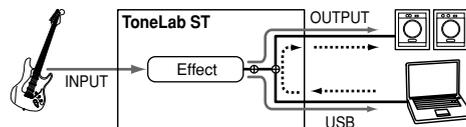
オーディオ・データをやり取りする

本機とコンピューターを USB ケーブルで接続すると、本機のエフェクト出力を、DAW ソフトウェアのオーディオ・トラックに直接録音することなどが可能になります。また、ソフトウェアの再生音を本機でモニターすることなども可能になります。

NOTE: コンピューターが Windows の場合、USB 端子を使用してオーディオ・データをやり取りするときは、USB-ASIO ドライバをコンピューターにインストールしてください。

USB-ASIO ドライバは、ホームページ (www.voxamps.jp) からダウンロードしてください。

コンピューターと接続したときの信号の流れは、以下のようになります。



USB 端子からの入力音に対しては、本機のエフェクトはかかりません。

動作環境

Windows: Microsoft Windows XP SP3 以降、Windows Vista SP1 以降

Mac: OSX 10.4 以降 (Power PC G4 以上、または Intel CPU)

工場出荷時の状態に戻す

本機の設定を、工場出荷時の状態に戻す方法を説明します。

NOTE: この操作を行うと、保存したプログラムは初期化され、すべて出荷時のプログラムの設定に戻ります。

1. 電源を切ります。
2. EXIT/TUNEスイッチとEXP PARAMスイッチを押しながら、電源を入れます。
3. UP、DOWN ペダルのLED が点滅したら、スイッチから手を離します。
HINT: 作業を中止するときは、EXIT/TUNE スイッチを押します。
4. WRITE スイッチを押します。

初期化が完了したら、プログラム・ディスプレイには、“0” と表示されます。

NOTE: 初期化中は、絶対に電源を切らないでください。

故障とお思いになる前に

STANDBYスイッチを ON にしても電源が入らない

- リア・パネルの DC 12V 端子に、AC アダプターが接続されていますか？
- コンセントに AC アダプターが接続されていますか？
- コンセントが故障していませんか？
- AC アダプターが損傷していませんか？

音が出ない

- ギターのボリュームを絞っていませんか？
- ギターのシールドが正しく接続されていますか？
- ギターのシールドが断線していませんか？
- リア・パネルのLEVEL ツマミが小さい値になっていませんか？
- トップ・パネルの VOLUME コントロールや GAIN コントロールが小さい値になっていませんか？
- トップ・パネルの TREBLE、MIDDLE、BASS コントロールが小さい値になっていませんか？
アンプ・モデルによっては、TREBLE、MIDDLE、BASS コントロールの値が小さいと、アンプから音が出ない場合があります。
- ヘッドホン、接続ケーブルが故障または断線していないか確認してください。
- エクスプレッション・ペダルをゲインやボリュームに割り当てて、手前に戻した位置にしてありませんか？
- チューナーを起動し、ミュートの状態になっていませんか？

エフェクトがかからない

- エフェクトの設定が OFF になっていませんか？
セレクターを使って、使用するエフェクトを選択するか、エ

フェクトのON/OFF スイッチでエフェクトをON に変更してください。

- チューナーが起動していませんか？
チューナーの起動中は、エフェクトがバイパスされています。EXIT/TUNE スイッチを押してバイパスを解除してください。
- EDIT ツマミの設定が小さい値になっていませんか？
EDIT ツマミを調整してください。

音がおかしい

- OPTION パラメーターの設定は、適切ですか？
CABNET ON/OFF スイッチを 1 秒程度押して OPTION パラメーター設定モードにし、各パラメーターを適当な値に調整してください。
- AMP/LINE スイッチは、接続先に合わせて適切に設定されていますか？
「接続しよう」(p.8) の手順 1 に従って、AMP/LINE スイッチを正しく設定してください。

スイッチ、セレクター、ツマミを操作しても音が変わらない

- エフェクトの設定が OFF になっていませんか？
セレクターを使って、使用するエフェクトを選択するか、エフェクトのON/OFF スイッチでエフェクトをON に変更してください。
- OPTION パラメーター設定モードになっていませんか？
OPTION パラメーター設定モードでは、BASS、VOLUME コントロールを操作することはできません。EXIT/TUNE スイッチを押して、OPTION パラメーター設定モードを解除してください。
- チューナーが起動していませんか？
チューナー起動中は、エフェクトがバイパスされています。EXIT/TUNE スイッチを押してバイパスを解除してください。

- エクスプレッション・ペダルの最小値、最大値を設定中ですか？
エクスプレッション・ペダルの最小値、最大値の設定中は、エクスプレッション・ペダルに割り当てられたパラメーター以外は変化しません。EXIT/TUNE スイッチを押して通常動作に戻ってください。
- キー・ロック機能を設定していませんか？
キー・ロック機能が設定されていると、トップ・パネルのスイッチ、セレクター、ツマミの操作することはできません。EXIT/TUNE スイッチを 2 秒程度押して、キー・ロック機能を解除してください。

プリセット・プログラム・リスト

off: エクスプレッション・ペダルを踏み込むと ON になる

■: エクスプレッション・ペダルの ON 時に有効となるエフェクト

No.	Program Type	PEDAL	AMP		CABINET	MOD/DLY	REVERB	Expression Pedal
50	Song	off	UK ROCK	SPL	ON	off	ROOM	classic chorus
51	Song	BOUTIQUE	US HIGAIN	CST	ON	ECHO PLUS	SPRING	VOLUME
52	Song	off	US BLUES	STD	ON	off	ROOM	textrem
53	Song	FUZZ	UK ROCK	STD	ON	DELAY	off	spring
54	Song	TUBE OD	VOX AC15	CST	ON	DELAY	ROOM	VOLUME
55	Song	off	US 2x12	STD	ON	off	ROOM	u-vibe
56	Song	off	UK METAL	CST	ON	off	SPRING	vox wah
57	Song	off	UK METAL	STD	ON	off	SPRING	phaser
58	Song	FUZZ	US BLUES	STD	ON	off	ROOM	pitch shifter
59	Song	off	US HIGAIN	STD	ON	off	SPRING	classic chorus
60	Song	ORANGE DIST	UK METAL	STD	ON	ECHO PLUS	SPRING	VOLUME
61	Song	COMP	VOX AC15	SPL	ON	CLASSIC CHORUS	ROOM	VOLUME
62	Song	TUBE OD	US BLUES	STD	ON	off	ROOM	textrem
63	Song	off	US METAL	CST	ON	off	ROOM	classic flanger
64	Song	off	UK ROCK	STD	ON	off	ROOM	vox wah
65	Song	off	UK METAL	STD	ON	PITCH SHIFTER	HALL	PITCH SHIFTER
66	Song	TREBLE BOOST	VOX AC15	CST	ON	ECHO PLUS	ROOM	VOLUME
67	Song	METAL DIST	US METAL	STD	ON	off	ROOM	classic flanger
68	Song	TREBLE BOOST	VOX AC30	CST	ON	off	SPRING	echo plus
69	Song	off	US METAL	STD	ON	ECHO PLUS	HALL	vox wah
70	Clean	COMP	CLEAN	CST	off	CHORUS+DELAY	HALL	CHORUS+DELAY
71	Crunch	off	VOX AC30	SPL	ON	MULTI TAP CHORUS	ROOM	boutique
72	Heavy	TUBE OD	VOX AC30	CST	ON	off	ROOM	pitch shifter
73	Heavy	TUBE OD	US METAL	CST	ON	PHASER	off	PHASER
74	Clean	ACOUSTIC	CALI CLEAN	CST	ON	CHORUS+DELAY	ROOM	CHORUS+DELAY

No.	Program Type	PEDAL	AMP		CABINET	MOD/DLY	REVERB	Expression Pedal
75	Crunch	COMP	CLEAN	STD	ON	<i>off</i>	ROOM	multi tap chorus
76	Heavy	<i>off</i>	UK METAL	SPL	ON	<i>off</i>	<i>off</i>	AMP GAIN
77	Scifi	OCTAVE	US HIGAIN	STD	ON	PHASER	<i>off</i>	OCTAVE
78	Clean	COMP	CLEAN	SPL	ON	CHORUS+DELAY	ROOM	VOLUME
79	Crunch	TREBLE BOOST	UK ROCK	STD	ON	DELAY	SPRING	VOLUME
80	Crunch	METAL DIST	US 2x12	CST	ON	TEXTREM	SPRING	TEXTREM
81	Heavy	BOUTIQUE	UK ROCK	SPL	ON	<i>off</i>	SPRING	SPRING
82	Clean	COMP	US BLUES	SPL	ON	PITCH SHIFTER	HALL	PITCH SHIFTER
83	Crunch	COMP	VOX AC15	STD	ON	ECHO PLUS	SPRING	SPRING
84	Heavy	VOX WAH	US METAL	SPL	ON	<i>off</i>	SPRING	VOX WAH
85	Heavy	<i>off</i>	US HIGAIN	CST	ON	PITCH SHIFTER	SPRING	PITCH SHIFTER
86	Scifi	OCTAVE	US METAL	SPL	ON	PITCH SHIFTER	HALL	HALL
87	Clean	COMP	CLEAN	CST	<i>off</i>	CLASSIC CHORUS	SPRING	VOLUME
88	Clean	COMP	CLEAN	CST	<i>off</i>	PHASER	HALL	PHASER
89	Crunch	TUBE OD	UK ROCK	CST	<i>off</i>	<i>off</i>	SPRING	echo plus
90	Heavy	COMP	US HIGAIN	STD	<i>off</i>	DELAY	<i>off</i>	hall
91	Scifi	<i>off</i>	VOX AC30	STD	<i>off</i>	FILTRON	<i>off</i>	FILTRON
92	Clean	COMP	CLEAN	CST	<i>off</i>	DELAY	SPRING	DELAY
93	Heavy	TREBLE BOOST	US BLUES	SPL	<i>off</i>	<i>off</i>	HALL	phaser
94	Clean(Scifi)	<i>off</i>	CLEAN	CST	<i>off</i>	FILTRON	HALL	FILTRON
95	Crunch	<i>off</i>	CALI CLEAN	STD	<i>off</i>	DELAY	SPRING	vox wah
96	Scifi	U-VIBE	CLEAN	STD	<i>off</i>	PITCH SHIFTER	HALL	U-VIBE
97	Crunch	U-VIBE	VOX AC30	STD	<i>off</i>	<i>off</i>	SPRING	U-VIBE
98	Acoustic	ACOUSTIC	CLEAN	CST	<i>off</i>	<i>off</i>	ROOM	pitch shifter
99	Heavy	FUZZ	UK ROCK	SPL	<i>off</i>	ECHO PLUS	SPRING	ECHO PLUS

仕様

アンプ・モデル：33
キャビネット・モデル：11
ペダル・タイプ：11
モッド/ディレイ・タイプ：11
リバーブ・タイプ：3
ノイズ・リダクション：1
プログラム数：100（プリセット 50、ユーザー 50）
オーディオ入力
INPUT 端子、AUX IN 端子
オーディオ出力
OUTPUT/PHONES 端子（STEREO/MONO 兼用）、LEVEL
ツマミ、AMP/LINE スイッチ
USB: USB 端子 (Type B)
チューナー
測定範囲：A0 ~ E6 (27.5Hz ~ 1,318.5Hz)
キャリブレーション A= 438 ~ 445Hz
その他
DC12V 端子、STANDBY スイッチ
信号処理
A/D 変換：24bit
D/A 変換：24bit
サンプリング周波数：44.1kHz
電源：AC アダプター (DC12V、)
消費電流：540mA
外形寸法 (W x D x H)：270 x 180 x 70 (mm)

質量：1.6kg

付属品：AC アダプター

仕様および外観は改良のため予告無く変更される場合があります。

保証規定（必ずお読みください）

本保証書は、保証期間中に本製品を保証するもので、付属品類（ヘッドホンなど）は保証の対象になりません。保証期間内に本製品が故障した場合は、保証規定によって無償修理いたします。

1. 本保証書の有効期間はご購入日より1ケ年です。
2. 次の修理等は保証期間内であっても有償となります。
 - ・消耗部品（電池、スピーカー、真空管、フェーダーなど）の交換。
 - ・お取扱い方法が不適當のために生じた故障。
 - ・天災（火災、浸水等）によって生じた故障。
 - ・故障の原因が本製品以外の他の機器にある場合。
 - ・不当な改造、調整、部品交換などにより生じた故障または損傷。
 - ・保証書にお買い上げ日、販売店名が未記入の場合、または字句が書き替えられている場合。
 - ・本保証書の提示がない場合。

尚、当社が修理した部分が再度故障した場合は、保証期間外であっても、修理した日より3ヶ月以内に限り無償修理いたします。

3. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
4. お客様が保証期間中に移転された場合でも、保証は引き続きお使いいただけます。詳しくは、サービス・センターまでお問い合わせください。
5. 修理、運送費用が製品の価格より高くなる場合がありますので、あらかじめサービス・センターへご相談ください。発送にかかる費用は、お客様の負担とさせていただきます。
6. 修理中の代替品、商品の貸し出し等は、いかなる場合においても一切行っておりません。

本製品の故障、または使用上生じたお客様の直接、間接の損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

本保証書は、保証規定により無償修理をお約束するためのもので、これよりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■お願い

1. 保証書に販売年月日等の記入がない場合は無効となります。記入できないときは、お買い上げ年月日を証明できる領収書等と一緒に保管してください。
2. 保証書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

VOX ToneLab ST

保証書

本保証書は、上記の保証規定により無償修理をお約束するものです。

お買い上げ日 年 月 日

販売店名

アフターサービス

■ 保証書

本製品には、保証書が添付されています。

お買い求めの際に、販売店が所定事項を記入いたしますので、「お買い上げ日」、「販売店」等の記入をご確認ください。記入がないものは無効となります。

なお、保証書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

■ 保証期間

お買い上げいただいた日より一年間です。

■ 保証期間中の修理

保証規定に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。本製品と共に保証書を必ずご持参の上、修理を依頼してください。

■ 保証期間経過後の修理

修理することによって性能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品（電子回路など）のように機能維持のために必要な部品の入手が困難な場合は、修理をお受けすることができませんのでご了承ください。また、外装部品（パネルなど）の修理、交換は、類似の代替品を使用することもありますので、あらかじめサービス・センターへお問い合わせください。

■ 修理を依頼される前に

故障かな?とお思いになったら、まず取扱説明書をよくお読みのうえ、もう一度ご確認ください。

それでも異常があるときは、サービス・センターへお問い合わせください。

■ 修理時のお願い

修理に出す際は、輸送時の損傷等を防ぐため、ご購入されたときの箱と梱包材をご使用ください。

■ ご質問、ご相談について

修理についてのご質問、ご相談は、サービス・センターへお問い合わせください。

商品のお取り扱いについてのご質問、ご相談は、お客様相談窓口へお問い合わせください。

WARNING!

この英文は日本国内で購入された外国人のお客様のための注意事項です

This Product is only suitable for sale in Japan. Properly qualified service is not available for this product if purchased elsewhere. Any unauthorised modification or removal of original serial number will disqualify this product from warranty protection.

株式会社コルグ

お客様相談窓口 TEL 03 (5355) 5056

● サービス・センター:

〒168-0073 東京都杉並区下高井戸1-15-12

TEL 03 (5355) 3537 FAX 03 (5355) 4470

輸入販売元: KORG Import Division
〒206-0812 東京都稲城市矢野口4015-2

//www.korg.co.jp/KID/

Tonelab ST

取扱説明書

① ②



VOX AMPLIFICATION LTD. 9 Newmarket Court, Kingston, Milton Keynes, MK10 OAU, UK

www.voxamps.com

©2008 VOX AMPLIFICATION LTD.